

土地利用計画図

土地の所在

高松市牟礼町牟礼字宗時
3049番11、3050番1、同番3、3051番1、
同番4、3052番2、同番3、3055番2

開発許可
年月日

第 R 6
令和 7 年 3 月 19 日
1 2 3 号

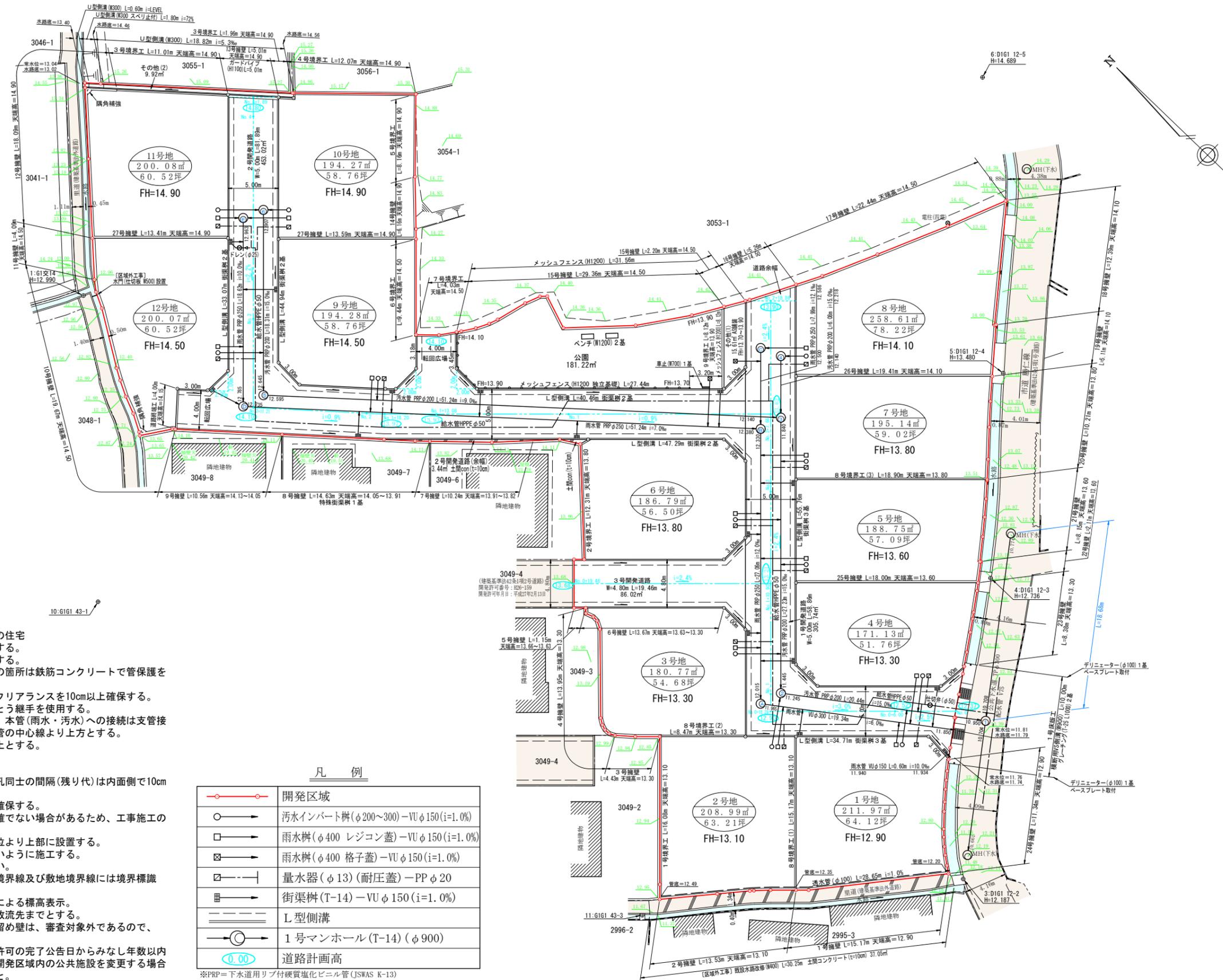
申請者

株式会社マリモハウス
代表取締役 向井 芳典

作成者
住所・氏名

高松市牟礼町牟礼二九四九番地
土地家屋調査士
森 和 夫

⑩ R7.1.24



- ※特記事項
- ・予定建築物の用途：一戸建ての住宅
 - ・汚水樹にはインバートを設置する。
 - ・雨水樹には泥溜(15cm)を設置する。
 - ・道路内の排水管路被60cm未満の箇所は鉄筋コンクリートで管保護を行なうか、耐圧管を使用する。
 - ・管又は水路が交差する場合はクリアランスを10cm以上確保する。
 - ・マンホールと本管の接続は可とう継手を使用する。
 - ・取付管の勾配は1.0%以上とし、本管(雨水・汚水)への接続は支管接合、断面方向の接続位置は本管の中心線より上方とする。
 - ・本管上の取付管間隔は1m以上とする。
 - ・マンホール蓋耐荷重
道路幅5.5m未満……T-14
 - ・マンホールでの管渠接続の削孔同士の間隔(残り代)は内側で10cm以上確保する。
 - ・宅内排水管路被は20cm以上を確保する。
 - ・既設埋設管の位置・深さが正確でない場合があるため、工事施工の際には調査・試掘が必要です。
 - ・排水管放流口は接続先通常水位より上部に設置する。
 - ・L型側溝端部は段差を生じないように施工する。
 - ・開発道路内に電柱は設置しない。
 - ・構造物を設置しない開発区域境界線及び敷地境界線には境界標識を設置する。
 - ・図中のレベル表記はT.P.基準による標高表示。
 - ・協議の対象は最終樹から一次放流先までとする。
 - ・30cm未満の高差に用いる土留め壁は、審査対象外であるので、設計者の判断による。
 - ・本開発区域に隣接して本開発許可の完了公告日からみなし年数以内に開発行為を行う場合及び本開発区域内の公共施設を変更する場合は、建築指導課と協議すること。

凡 例

	開発区域
	汚水インバート(φ200~300) - VU φ150 (i=1.0%)
	雨水樹(φ400 レジコン蓋) - VU φ150 (i=1.0%)
	雨水樹(φ400 格子蓋) - VU φ150 (i=1.0%)
	量水器(φ13) (耐圧蓋) - PP φ20
	街栗樹(T-14) - VU φ150 (i=1.0%)
	L型側溝
	1号マンホール(T-14) (φ900)
	道路計画高

※PRP=下水道用リブ付硬質塩化ビニル管(JSWS K-13)

縮 尺 1/400